

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	歴史 B	
科目基礎情報							
科目番号	23004			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	電気工学科			対象学年	3		
開設期	2nd-Q			週時間数	2		
教科書/教材	なし						
担当教員	菊池 達也						
到達目標							
①第二次世界大戦後の世界情勢について、とくに冷戦の開始から終結までの過程を説明できる。 ②第二次世界大戦後の日本政治について、占領期から55年体制の崩壊までの過程を説明できる。 ③冷戦終結後の世界および日本の動向について説明し、現在生じている諸問題を歴史的に考察できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限のレベルの目安(可)		未到達レベルの目安
評価項目1	第二次世界大戦後の世界情勢について、とくに冷戦の開始から終結までの過程を論理的かつ詳細に説明できる。		第二次世界大戦後の世界情勢について、とくに冷戦の開始から終結までの過程を論理的に説明できる。		第二次世界大戦後の世界情勢について、とくに冷戦の開始から終結までの過程を説明できる。		第二次世界大戦後の世界情勢について、とくに冷戦の開始から終結までの過程を説明できない。
評価項目2	第二次世界大戦後の日本政治について、占領期から55年体制の崩壊までの過程を論理的かつ詳細に説明できる。		第二次世界大戦後の日本政治について、占領期から55年体制の崩壊までの過程を論理的に説明できる。		第二次世界大戦後の日本政治について、占領期から55年体制の崩壊までの過程を説明できる。		第二次世界大戦後の日本政治について、占領期から55年体制の崩壊までの過程を説明できない。
評価項目3	冷戦終結後の世界および日本の動向と、現在生じている諸問題について論理的かつ詳細に説明できる。		冷戦終結後の世界および日本の動向と、現在生じている諸問題について論理的に説明できる。		冷戦終結後の世界および日本の動向と、現在生じている諸問題について説明できる。		冷戦終結後の世界および日本の動向と、現在生じている諸問題について説明できない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	第2学期開講 昭和（戦後）から令和にいたるまでの世界および日本の歴史的展開を大きな時代的枠組みを意識しつつ、各時代の政治・社会を学習する。						
授業の進め方・方法	配布プリントを利用しながら講義形式で授業を進める。また必要に応じてDVDも利用する。理解度を確認するため授業中に小テストを実施することがある。						
注意点	前回の授業で話した内容が次の時間にもつながるケースが多いので、授業にのぞむ前に復習をしっかりとってほしい。また授業では教員が話すことを聞くだけでなく積極的に発言してもらいたい。ただし授業に関係のない私語は厳禁。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	2ndQ	9週	ガイダンス、第二次世界大戦の実像		シラバスの内容を説明できる。第二次世界大戦がいかに悲惨な戦いであったかを理解する。		
		10週	冷戦		冷戦が生じた要因と、その後の展開について説明できる。		
		11週	占領下の日本		占領下の日本がどのように統治されていたかを説明できる。日本が独立するまでの過程を説明できる。		
		12週	55年体制の成立と展開		55年体制がどのように成立したのか、なぜ長期間続いたのかを説明できる。		
		13週	冷戦の終結		冷戦終結までの過程を説明できる。冷戦終結後の世界にどのような問題があるのかを説明できる。		
		14週	55年体制の崩壊と政権交代の時代		なぜ55年体制が崩壊したのか、そして現在の政権にどのようなつながっているのかを説明できる。		
		15週	まとめ、期末試験		これまでの内容を整理する。		
		16週	答案返却				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。		3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。		3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。		3	
評価割合							
	期末試験	小テスト	レポート		態度	その他	合計
総合評価割合	50	20	20	0	10	0	100
基礎的能力	50	20	20	0	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0